

小学校第5学年 単元別確認テスト15

単元名 [割合 (啓林館)] [百分率とグラフ (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
5年 () 組 () 番 名前 ()				

○ 次の問いに答えましょう。

① (ア) と (イ) の2種類のくじがあります。当たりやすいのはどちらでしょう。

(ア) 50本中20本の当たりが入っているくじ

(イ) 20本中9本の当たりが入っているくじ

② 野球の試合で、20試合のうち、12回勝ったときの、勝った割合を答えましょう。

[①② 知識・理解]

○ □にあてはまる数を求めましょう。

③ □kgの12%は、60kgです。

④ 4mは、25mの□%です。

○ 次の表は、ゆうたさんの学校の図書室で、4月と5月に貸し出した本の数を種類別に表にまとめたものです。

4月に貸し出した本の数

種類	数(さつ)	割合(%)
物語	202	42
伝記	134	28
科学	67	14
その他	77	16
合計	480	100

5月に貸し出した本の数

種類	数(さつ)	割合(%)
物語	216	48
伝記	117	(ア)
科学	54	12
その他	63	14
合計	450	(イ)

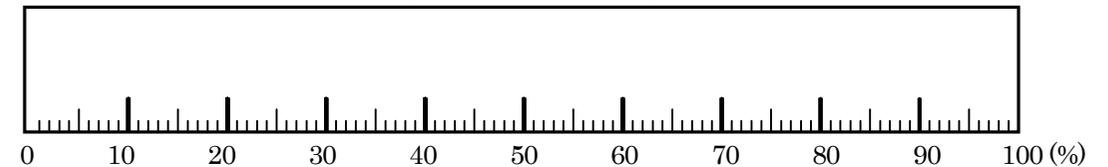
⑤ 表の(ア)、(イ)に入る数を書きましょう。

(ア)

(イ)

⑥ 5月に貸し出した本の数の割合を帯グラフに表しましょう。

5月に貸し出した本の数の割合



[③~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ バスに48人乗っています。これは、定員の80%です。このバスの定員は何人でしょう。

式

答え

⑧ 定価900円のサッカーボールを、Aの店では30%引きで、Bの店では300円引きで売っていました。どちらの店が、何円安いでしょう。求め方も説明しましょう。

[⑦⑧ 考え方]

小学校第5学年 単元別確認テスト 15 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[13 割合 (啓林館P168~P184)] [13 百分率とグラフ (東京書籍下P54~P73)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 百分率について理解できるようにする。 (4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し, 円グラフや帯グラフを用いて表したり, 特徴を調べたりすることができるようにする。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	割合を用いて, 当たりやすさを比べることを理解している。	(イ)			○	○		90%	
②	割合の求め方を理解している。	0.6			○		○	90%	
③	割合と比べる量を使って, もとにする量を求めることができる。	500		○			○	80%	
④	割合を百分率で求めることができる。	16		○			○	90%	
⑤	表に示された数値をもとに百分率を求めることができる。	(ア) 26 (イ) 100		○			○	90%	
⑥	表の百分率をもとに, 帯グラフをかくことができる。	省略		○			○	80%	
⑦	比べる量と割合を使って, もとにする量を求める式を立て, 答えを考えることができる。	$48 \div 0.8 = 60$ 60人	○				○	80%	
⑧	割合を用いて値段を比べ, そのわけを説明することができる。	Aの店は, 900円の30%引きで売っているの で, 900円の70%が売値になる。 $900 \times 0.7 = 630$ 円。 Bの店は, 900円の300円引きで売っているの で, 売値は $900 - 300 = 600$ 円 売値を比べると, Bの店のほうが30円安い。 (別解) Aの店は, 900円の30%引きなので $900 \times 0.3 = 270$ の270円引き。 Bの店は, 300円引き。 270円引きと300円引きでBの店の方が30円安 い。	○				○	70%	
合 計 8 問			2	4	2	1	6	1	84%

単元名 [円と正多角形 (啓林館)] [正多角形と円周の長さ (東京書籍)]	① (/ 1) 知識・理解	②~④ (/ 3) 技能	⑤~⑦ (/ 3) 考え方	得点 (/ 7)
5年 ()組 ()番 名前 ()				

円周率は3.14として計算しなさい。

○ 次の問いに答えましょう。

① 円の直径の長さが2倍、3倍になったとき、円周の長さはどうなるでしょう。

円周の長さ:

[① 知識・理解]

○ 次の問いに答えましょう。

② 直径が8cmの円の円周の長さ

式

③ 円周の長さが12.56cmの円の半径

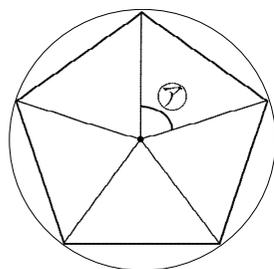
式

答え

答え

④ 円の中心のまわりの角を等分する方法で、正五角形をかきました。⑦の角は何度でしょう。

式

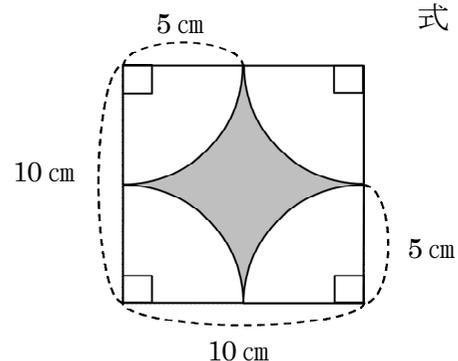


答え

[②~④ 技能]

⑤ 次の図の黒色の部分の周りの長さは何cmでしょう。

式

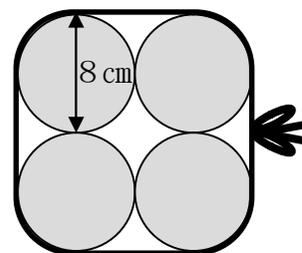


答え

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 直径8cmのかんづめ4個を、次の図のように、ひもで1回巻いてしばりました。結び目に20cm使うとすると、ひもは全部で何cm必要でしょう。

式

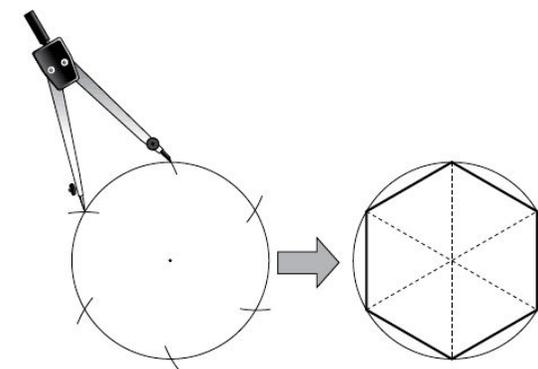


答え

⑦ ゆみさんは、まずコンパスで半径の長さを確にんして、次にその長さで円のまわりを区切っていくと、多角形ができました。

この多角形が正六角形であることを説明しましょう。

(図に記号などを書き入れて、説明してもかまいません。)



[⑤~⑦ 考え方]

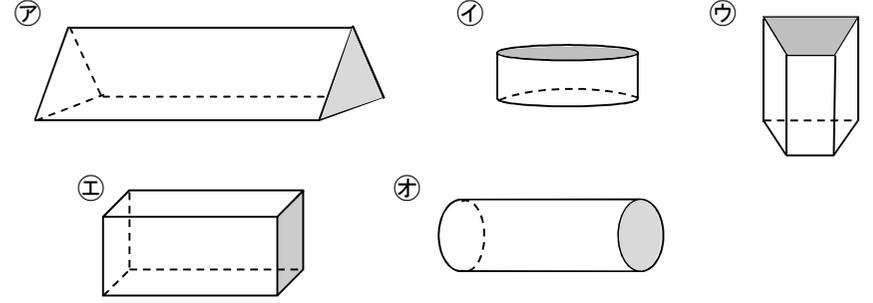
小学校第5学年 単元別確認テスト 16

出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[14 円と正多角形 (啓林館P188~P198)] [14 正多角形と円周の長さ (東京書籍下P78~P91)]							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して, 平面図形についての理解を深める。 ア 多角形や正多角形について知ること。 エ 円周率の意味について理解すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	円の直径の変化に伴って, 円周と面積がどのように変化するかを理解している。	2倍, 3倍になる。			○		○	80%	
②	円の直径から, 円周を求めることができる。	(式) $8 \times 3.14 = 25.12$ (答え) 25.12cm		○			○	80%	
③	円周から, 円の半径を求めることができる。	(式) $12.56 \div 3.14 \div 2 = 2$ (答え) 2cm		○			○	80%	
④	正五角形をかくために, 円の中心のまわりの角を等分して1つの角の大きさを求めることができる。	(式) $360 \div 5 = 72$ (答え) 72度		○			○	70%	
⑤	図から半径5cmの円の円周を求めることができる。	(式) $10 \times 3.14 = 31.4$ (答え) 31.4cm	○				○	70%	
⑥	円の直径に当たる部分や円周に当たる部分を区別しながら, 答えを考えることができる。	(式) 円周に当たる部分: $8 \times 3.14 \div 4 \times 4 = 25.12$ 直径に当たる部分: $8 \times 4 = 32$ 結び目の部分の20cmを加えて $25.12 + 32 + 20 = 77.12$ (答え) 77.12cm	○				○	70%	
⑦	正六角形になるわけを, 中心の周りの角の大きさや, 六角形の辺の長さや角の大きさに目を向けて説明することができる。	できた多角形の6つの頂点と円の中心を結ぶと, 6つの三角形ができる。 6つの三角形はどれも合同な正三角形だから, 六角形の全部の辺の長さは半径と等しく, 角の大きさは全部 60° の2つ分で 120° になる。 辺の長さも角の大きさも等しいので, 正六角形になる。	○				○	70%	
合計 7 問			3	3	1	0	5	2	74%

単元名 [角柱と円柱(啓林館)][角柱と円柱(東京書籍)]	①② (/ 2)	③④ (/ 2)	⑤⑥ (/ 2)	得点 (/ 6)
5年 ()組 ()番 名前 ()	知識・理解	技能	考え方	

○ ⑦~⑩の立体を見て、次の問いに答えましょう。

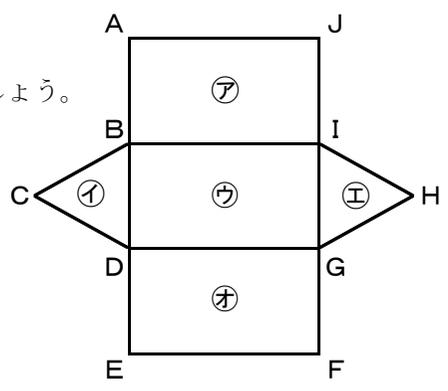


① ⑦~⑩の中から、角柱をすべてえらび、記号で答えましょう。

② ⑦~⑩の中から、円柱をすべてえらび、記号で答えましょう。

〔①②知識・理解〕

○ 右の展開図を見て、次の問いに答えましょう。



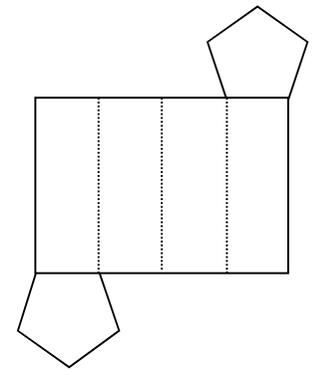
③ 組み立てたとき、頂点Aと重なる頂点をすべてかきましょう。

④ 組み立てたとき、面⑧に垂直な面をすべてかきましょう。

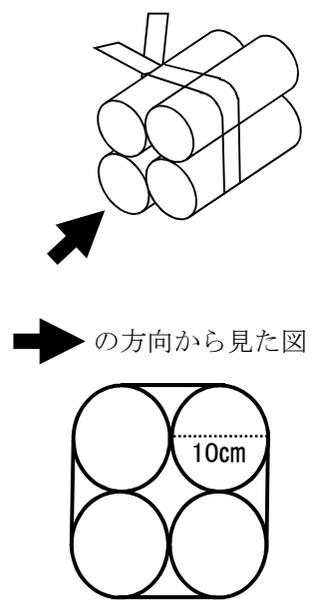
〔③④技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

⑤ 下の五角柱の展開図は、まだ完成できていません。必要な面をかきたして、五角柱の展開図を完成させましょう。



⑥ 直径10cmの円柱4本を、次の図のようにならべてひもでしばります。結び目として必ず30cm使うとすると、1mのひもでしばることができるでしょうか。「できる」「できない」のどちらかを○で囲み、そのわけをかきましょう。

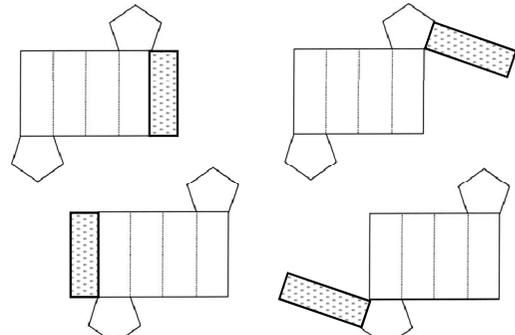


しばることが (できる ・ できない)

(わけ)

〔⑤⑥考え方〕

小学校第5学年単元別確認テスト17 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔15 角柱と円柱（啓林館P200～P207）〕 〔16 角柱と円柱（東京書籍下P102～P110）〕							
〈学習指導要領〉		(2) 図形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形について理解できるようにする。							
C 図形		ア 角柱や円柱について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	角柱について理解している。	㉗, ㉘, ㉙			○	○			90%
②	円柱について理解している。	㉚, ㉛			○	○			90%
③	見取り図から、頂点の位置関係をとらえることができる。	頂点C, 頂点E		○		○			80%
④	見取り図から、面の位置関係をとらえることができる。	面㉗, 面㉘, 面㉙		○		○			80%
⑤	五角柱の面の形・個数を考えることができる。		○				○	80%	
⑥	円柱の直径を使って答えを考えることができる。	<p>しぼることが（できない）</p> <p>（わけ）</p> <p>まず、ひもの4か所の直線部分は、円柱の底面の中心から中心までの長さと同じなので、10cm。これが4か所で40cm。</p> <p>次に、曲線部分の4か所を合わせると、この円柱の円周の長さになるので、$10 \times 3.14 = 31.4\text{cm}$。</p> <p>結び目を考えると、ひもは最低でも $40 + 31.4 + 30 = 101.4\text{cm}$ の長さが必要だから。</p>	○				○	70%	
合計 6 問			2	2	2	4	0	2	82%

小学校第5学年 単元別確認テスト18

単元名 [体積 変わり方 (啓林館)] [比例 四角形と三角形の面積 (東京書籍)]	① (/ 1) 知識・理解	②~⑥ (/ 5) 技能	⑦ (/ 1) 考え方	得点 (/ 7)
5年 () 組 () 番 名前 ()				

○ 次の問いに答えましょう。

① 次の (ア) ~ (エ) のうち、ともなって変わる2つの量が比例しているものをえらび、記号をかきましょう。

(ア) 面積が決まっている長方形のたてと横の長さ

(イ) えんぴつを買うときの買う本数と代金

(ウ) 1日の起きている時間と眠っている時間

(エ) 正方形の1辺の長さとの面積

[① 知識・理解]

○ 7個のみかんを兄と弟の2人で分けます。次の問いに答えましょう。

② 兄の個数を○個、弟の個数を□個として、次の表を完成させましょう。

兄の個数○(個)	1	2	3	4	5
弟の個数□(個)					

③ 兄の個数○と弟の個数□の関係を式に表しましょう。

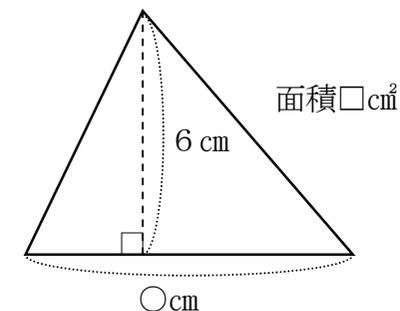
○ 同じ太さのはり金があります。5mのはり金の重さは、25gです。次の問いに答えましょう。

④ このはり金の長さ○mと重さ□gの関係を表にまとめましょう。

長さ○(m)						
重さ□(g)						

⑤ 長さ○mと重さ□gの関係を式に表しましょう。

○ 下の表は、高さが6cmの三角形の底辺の長さ○cmと面積□cm²の関係を表したものです。次の問いに答えましょう。



⑥ 表を完成させましょう。

底辺の長さ○(cm)	2			8	
面積□(cm ²)		12	18		30

[②~⑥ 技能]

⑦ 表からわかることを書きましょう。

[⑦ 考え方]

単元名		[2 体積 16 変わり方 (啓林館P25, P208~P211)] [3 比例 12 四角形と三角形の面積 (東京書籍P30~P33, 下P50)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(1) 表を用いて, 伴って変わる二つの数量の関係を考察できるようにする。 ア 簡単な場合について, 比例の関係があることを知ること。 (2) 数量の関係を表す式についての理解を深め, 簡単な式で表されている関係について, 二つの数量の対応や変わり方に着目できるようにする。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	比例の性質を理解している。	(イ)			○	○			90%
②	2つの数量を表に表すことができる。	(表の左から) 6 5 4 3 2		○			○		90%
③	2つの数量を式に表すことができる。	$\begin{aligned} & \bigcirc + \square = 7 \\ & (\bigcirc = 7 - \square, \square = 7 - \bigcirc) \end{aligned}$		○			○		90%
④	比例関係にある2つの数量を表に表すことができる。	(例えば) $\begin{array}{cccccc} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \\ 5 & 10 & 15 & 20 & 25 & 30 \end{array}$ *これ以外の表も可。		○			○	90%	
⑤	比例関係にある2つの数量を式に表すことができる。	$\begin{aligned} & \bigcirc \times 5 = \square \\ & (\square \div \bigcirc = 5, \square \div 5 = \bigcirc) \end{aligned}$		○			○		90%
⑥	比例関係にある2つの数量を, 表に表すことができる。	(2) $\begin{array}{cccc} 4 & 6 & (8) & 10 \\ 6 & (12) & (18) & 24 & (30) \end{array}$		○			○	80%	
⑦	対応や変わり方から特徴を見出し, それを説明することができる。	・底辺の長さが2倍, 3倍になると面積も2倍, 3倍になる。 (・底辺の長さを3倍すると, 面積になる。)	○					○	80%
合 計 7 問			1	5	1	1	5	1	87%